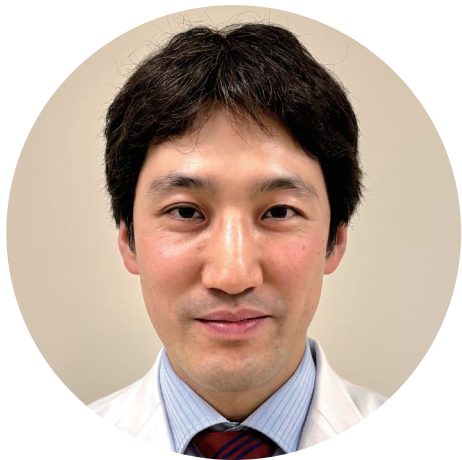


全身に影響が及ぶ内分泌の主な病気

～甲状腺機能異常・原発性アルドステロン症～

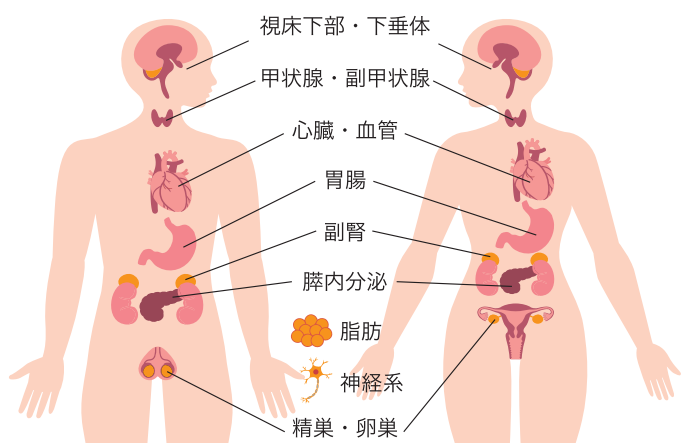


糖尿病・代謝・内分泌内科

大橋 謙之亮 診療医長

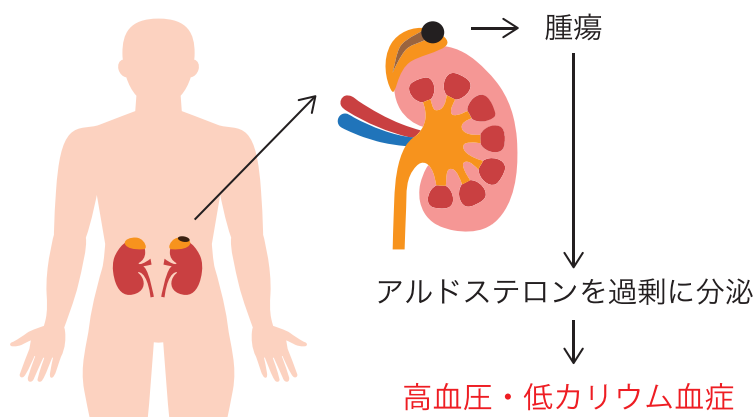
内分泌というのは、ホルモンにより身体の機能を調整するシステムのことです。ホルモンは、下垂体、甲状腺、心臓・血管、胃腸、副腎、脂肪、精巣・卵巣など様々な臓器や組織でつくられています。内分泌疾患によりホルモンが増減することで、全身に様々な影響を与えます。

全身にある内分泌器官



内分泌の病気はたくさんありますが、甲状腺機能異常は頻度が非常に高いです。甲状腺ホルモンが増える甲状腺機能亢進症（バセドウ病）、ホルモンが減る甲状腺機能低下症（橋本病）などがあります。

原発性アルドステロン症



他に、原発性アルドステロン症は高血圧を起こす内分泌の病気です。高血圧のおよそ10%程度の方が、この病気が原因であるともいわれています。副腎の腫瘍を手術することで高血圧が治る可能性もあります。

内分泌に関わる病気はたくさんあります。不調が長く続いていても原因がはっきりしない場合は、内分泌の機能障害かもしれません。しっかり検査することが重要です。



動画概要

全身に影響が及ぶ内分泌の主な病気～甲状腺機能異常・原発性アルドステロン症～

糖尿病・代謝・内分泌内科 大橋謙之亮 診療医長

